

2019年度 環境経営レポート



発行年月日 2020年 11月 20日

レポート対象期間 2019年 8月 ~2020年 7月

株 式 会 社 ミ ヤ プ ロ

環境経営レポートの記載要領

目 次

1. 組織の概要
2. 環境経営方針
3. 環境経営管理組織体制
4. 製造フロー
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営教育
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営計画の具体的な取組
10. 環境経営計画の取組結果とその評価
11. 次年度の環境経営目標
12. 次年度の環境経営計画の取組内容
13. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
14. 代表者による全体評価と見直し

発行日： 2020年 11月 20日

発行責任者：環境経営管理責任者 安野秀樹

次回発行予定： 2021年 9月末

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社ミヤプロ

【代表者氏名】 代表取締役 宮崎 佳昭

【所在地】 本 社 香川県高松市朝日新町16番19号
東京営業所 東京都港区元赤坂1-1-7
オリエント赤坂モートサイド805
東 営 業 所 香川県さぬき市大川町富田西1206番地4

【環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境経営管理責任者氏名 製造部 部長 安野 秀樹
連絡先担当者 製造部 部長 安野 秀樹
連絡先 TEL : 087-851-0515 / FAX : 087-851-5666

【事業活動の内容についての簡単な記述】

印刷・製版、ICT事業
企画、デザイン、印刷、ICT・ホームページ・マルチメディアコンテンツ・
CG事業・受信代行業務

【事業規模】

設立年月日 1976年12月
資本金 2,400万円
主要製品の生産量・出荷額（売上高） 2億7,206万円（2019年度）
事業年度 8月～7月

	本社	東京営業所	東営業所
従 業 員	25名	2名	1名 [※]
延 べ 床 面 積	1,176.05m ²	25.88m ²	54m ²

※本社兼任

【対象範囲（認証・登録範囲）】 全社・全活動

【プライバシーマーク】

2006年10月1日
2018年10月10日

認証取得
更新



【CSR】

2013年6月25日
2015年6月29日
2019年6月26日

ワンスター認証取得
ツースター認証取得
ツースター更新



CSRとは、全日本印刷工業組合が制定した認定制度。①コンプライアンス②環境③情報セキュリティ④品質⑤雇用・労働安全⑥財務・業績⑦社会貢献・地域志向⑧情報開示・コミュニケーションの8項目で評価。この8項目をクリアできた企業が、認定を受けることができる。第二弾として、ツースターの認定を受けた。

2. 環境経営方針

【ビジョン】

製版、印刷分野では現在まで培ってきた技術と品質をもとにさらなる信頼を得て、ICTを駆使して常に最良で高品質なサービスを提供出来るソリューションプロバイダーを目指し、事業活動を通じて、豊かな社会と環境保全の両立に寄与していくため、私たちは環境にやさしい優れた商品の開発・製造に努めます。

【基本方針】

1. 環境負荷の低減を図る為、以下のことに取り組みます。
 - ①車両燃料使用量削減、電力使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
 - ②廃棄物の削減とリサイクル化の推進
 - ③用水使用の節水
 - ④大切なお客様のお役立ちに取り組む
2. 関連する環境の法規制及びその他の要求事項を遵守します。
3. P R T R法対象薬品の使用方法及び管理において、法令に遵守します。
4. 環境負荷の低減目標や運用計画は、定期的に見直し継続的な活動に取り組みます。
5. 従業員に対し、朝礼・会議を通じて、環境経営方針・環境経営計画などについての周知徹底を図ります。

※この環境経営方針は、全従業員に周知徹底を図るとともに、HP等で社内外に公表する。

制定日：2012年10月9日

改定日：2019年7月16日

香川県高松市朝日新町16-19

株式会社ミヤプロ

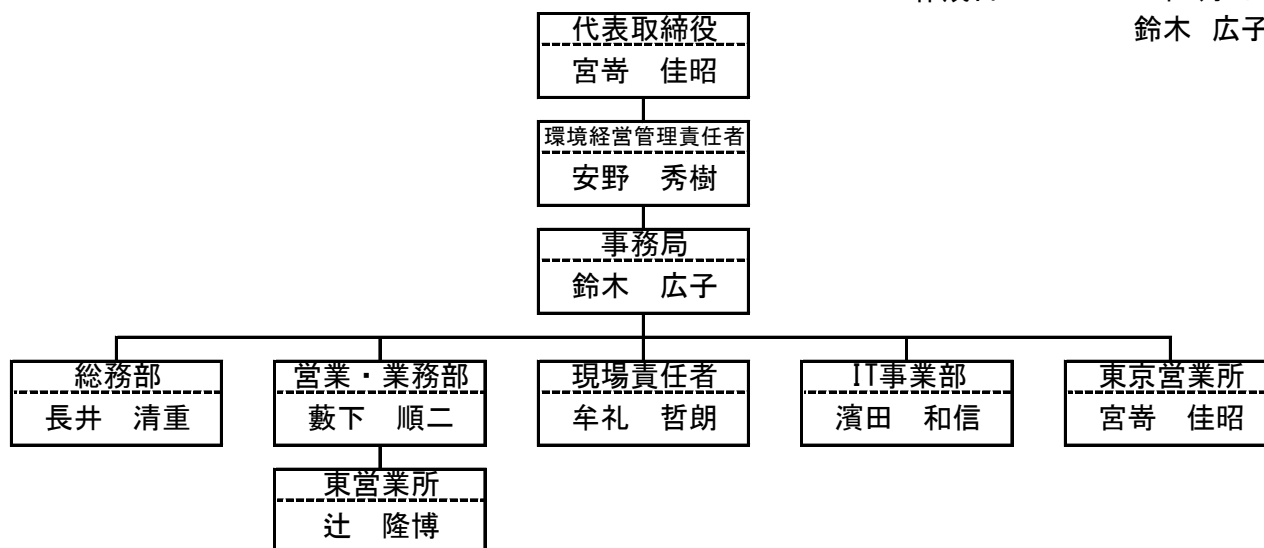
代表取締役 宮崎佳昭

3. 環境経営管理組織体制

作成日

2019年8月1日

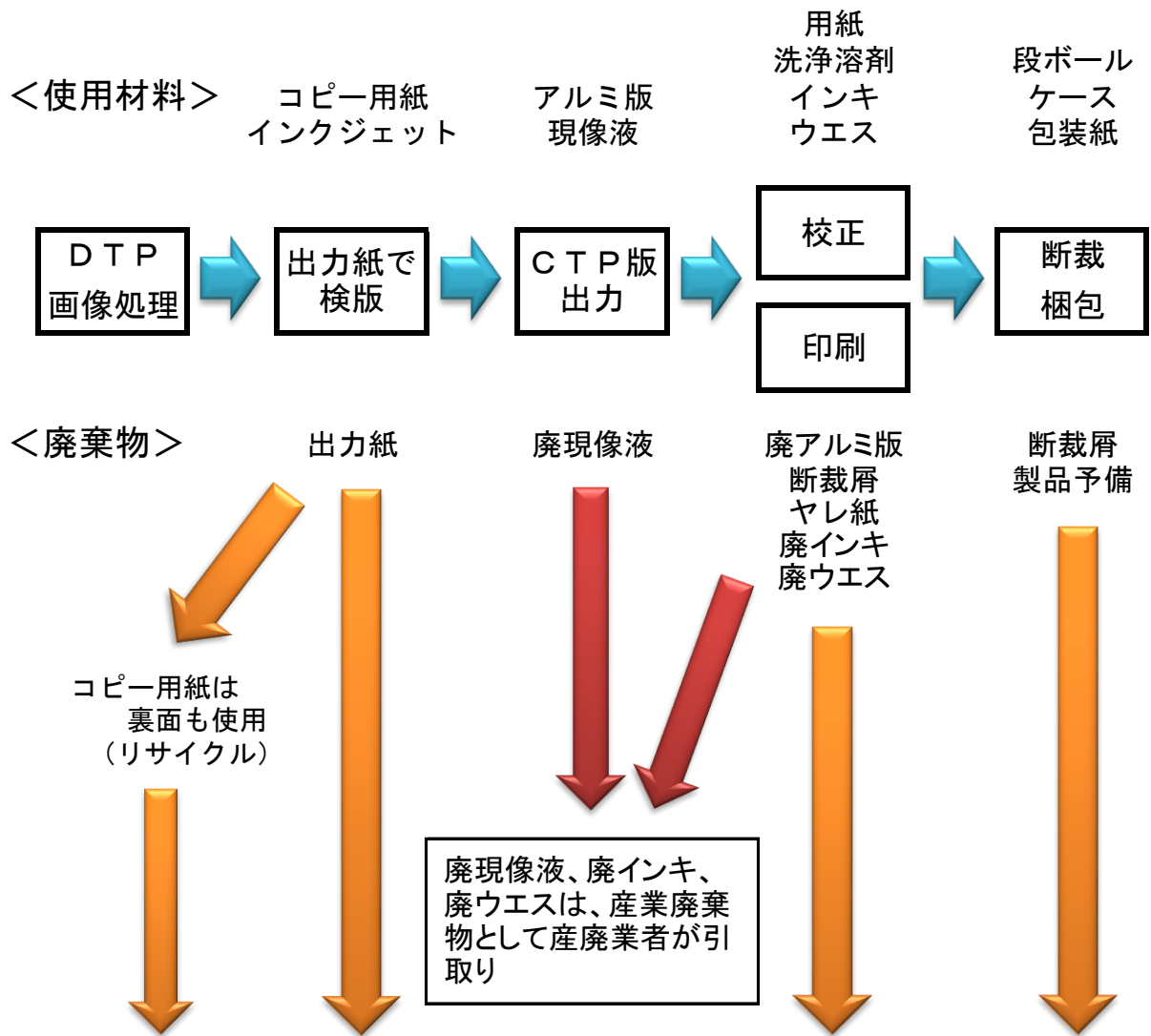
鈴木 広子



環境経営管理システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境経営管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 全従業員に対する教育・訓練の実施 環境経営目標、環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートを確認し、承認 環境関連法規等取りまとめ表の承認 緊急事態への対応マニュアルを確認し、承認
環境経営管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営目標、環境経営計画書を確認 環境経営の取り組み結果を代表者に報告 環境経営レポートの確認 環境経営計画の実施及び達成状況の承認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営管理責任者の補佐 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境経営目標、環境経営計画書を作成 環境経営レポートの作成 環境経営計画の実施及び達成状況の確認 緊急事態への対応マニュアル作成
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の確認 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営へ参加

4. 製造フロー



- ・紙類はリサイクル用古紙として、古紙回収業者へ売却
- ・廃アルミ版は廃版業者へ売却

5. 環境経営目標

(1) 単年度目標

2017年度を基準に、2%の改善を目標とする

	2017年度 基準値 2017.8 -2018.7	2019年度 目標 2019.8 -2020.7
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	111,255
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,381
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	146,149
用水使用量 (m ³)	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.53
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24

(2) 中長期目標

2017年度を基準に、毎年1%ずつ改善を目標とする

	2017年度 基準値 2017.8 -2018.7	2018年度 目標 2017年度比	2019年度 目標 2017年度比	2020年度 目標 2017年度比
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	112,390	111,255	110,119
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,487	10,381	10,275
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	147,641	146,149	144,658
用水使用量 (m ³)	259	259	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.64	11.53	11.41
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24	24	24

※1：業務で発生する廃棄物の内、古紙（紙類）排出量を除く一般廃棄物と産業廃棄物の排出量削減に取り組む

*1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 調整後排出係数（2017年度実績）（2018年12月公表）のテプコカスタマーサービスの実調整後排出係数(0.596kg-CO₂/kWh)を使用した。

*2. 東営業所は営業戦略上、拠点としておいているが常在していない。電気、水は含まず。

6. 環境経営計画

期間： 2019年 8月 ～ 2020年 7月

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの励行 ^{※1} ○タイヤ空気圧の点検 ^{※1}	辻
	電力使用量 削減	○不要な照明・機器の電源を消す ^{※2}	安野
用水使用の節水		○節水呼びかけ	鈴木
廃棄物削減		○紙の裏面の再利用 ^{※2} ○リサイクルできるものとの分類	鈴木
化学物質の適正管理		○使用方法及び管理の徹底	牟礼
大切なお客様のお役立ちに取り組む		○ミヤプロのCO ₂ 排出量削減への取り組みを紹介。コスト削減への手助けにしてもらう	鈴木

※1：東営業所でも同様に取り組む

※2：東京営業所でも同様に取り組む

7. 環境経営教育

期間： 2019年 8月 ～ 2020年 7月

2020年5月2日 会社回りの清掃



8. 環境経営目標の実績

(1) 単年度目標とその実績

項 目	2017年度 基準値 2017.8 -2018.7	2019年度 目標 2019.8 -2020.7	2019年度 実績 2019.8 -2020.7	評価
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	111,255	88,460	○
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,381	9,213	
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	146,149	112,440	
用水使用量 (m ³)	259	259	273	×
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.53	13.76	×
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79	10.45	○
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24	37	○

【コメント】

- ・ CO₂発生量に関して
クリアできている。2018年6月の大型エアコン2台を省エネタイプに買い替えや、全館全ての蛍光灯のLED化等の影響が大きいですが、コロナにより仕事量が減り、営業日数、残業時間が減ったことも要因と考えられる。引き続き目標達成できるようにしていきたい。
- ・ 用水使用量に関して
多くなってしまった。手洗い・うがいの頻度が増えたことも要因と考えられる。目標値を維持できるように節水に取り組みたい。
- ・ 廃棄物発生量に関して
多くなってしまった。UV校正の仕事の増加に伴い、再利用できない紙の増加（再利用している紙の量が約5t以上減少）、インキ洗浄時に使用する油の増加につながっている。また、お客様で用意されたインキを支給されるケースもあり、空缶の排出量もかなり増えている。色々な要因が考えられるが、減らせるよう取り組んでいきたい。
- ・ 化学物質排出量に関して
現状維持を目標としているが、かなり減らすことができている。紙粉の出やすい紙を使用する仕事が少ないことが要因と考えられる。引き続き、現状維持できるよう取り組んでいきたい。
- ・ 大切なお客様のお役立ちに取り組む
お客様へ、弊社のCO₂削減の取り組みを紹介できている。紹介し、お客様からの意見を聞くことは弊社の取り組みの見直しにもつながるので、引き続き取り組んでいきたい。

(2) 中長期目標とその実績

(3年間)

項 目	2017年度 基準値 2017.8 -2018.7	2018年度 目標 2018.8 -2019.7	2019年度 目標 2019.8 -2020.7	2020年度 目標 2020.8 -2021.7
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	112,390	111,255	110,119
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,487	10,381	10,275
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	147,641	146,149	144,658
用水使用量 (m ³)	259	259	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.64	11.53	11.41
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24	24	24

※1：業務で発生する廃棄物の内、古紙(紙類)排出量を除く一般廃棄物と産業廃棄物の排出量削減に取り組む

*1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂調整後排出係数(2017年度実績)(2018年12月公表)のテプコカスタマーサービスの実調整後排出係数(0.596kg-CO₂/kWh)を使用した。

*2. 東営業所は営業戦略上、拠点としておいているが、常在していない。電気、水は含まず。

9. 環境経営計画の具体的な取組

【1】CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減

【自動車に関して】

1. 社用車を使用する際、エコドライブを常に心がける^{※1}
2. 定期的にタイヤの空気圧を点検する^{※1} ※1：東営業所も同様に取り組む

(2) 電力使用量削減

【照明・生産設備に関して】

1. 未使用時には、照明、OA機器、断裁機、折り機等の電源をOFFにする^{※2}
2. 倉庫・トイレは常時消灯^{※2} ※2：東京営業所も同様に取り組む

2011年 1月：本社事務所に「デマンド装置」を配置。

2017年 7月：電力購入会社を「藤田産業」に。

2017年10月：事務所の蛍光灯6本をLEDに。

2018年 6月：事務所、現場の蛍光灯をLEDに。大型エアコン2台を省エネタイプに。

2018年 6月：電力購入会社を「テプコカスタマーサービス」に。社内の蛍光灯全てをLEDに。

【空調に関して】

1. 冷暖房の温度を、夏期27℃、冬期20℃前後に設定する（事務所）
※現場の場合、機材の関係上、温度設定が難しい

【2】用水使用の節水

1. 節水を呼び掛ける

【3】廃棄物削減

1. コピー用紙の裏面の再利用^{※3}
2. ヤレ紙の再利用（現場）
3. リサイクルできるものとの分類 ※3：東京営業所も同様に取り組む

【4】化学物質の適正管理

1. P R T R対象薬品の適切な使用方法及び管理を徹底する

★廃液削減装置の導入（2013年4月）

廃液を煮詰め、真水と廃棄物に分ける。約1/8の量に減らすことができる。

【5】大切なお客様のお役立ちに取り組む

1. お客様へ、ミヤプロのCO₂排出量削減の取組を紹介。コスト削減の手助けとしていただく。

【6】その他

1. 2016年4月より、印刷用のインキを速乾性インキ^{※4}に変更。
パウダースプレーの使用量を半減させることができる。

※4：DICフュージョンGMK

10. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2019年 8月 ～ 2020年 7月

項目		活動内容	2017年度 2017年8月 ～2018年7月	2019年度 2019年8月 ～2020年7月	取組結果	評価
CO ₂ 排出 量削減	燃 料	ガソリン使用量 (L)	10,593	9,213	対2017年度比 87.0 %	○
		○エコドライブの励行 ○タイヤ空気圧の点検			エコドライブできている。 また、タイヤの空気圧も定期的 に点検できている。	
	電 力	電気使用量 (kWh)	149,132	112,440	対2017年度比 75.4 %	○
		○不要な照明・機器の 電源を消す			不要な電気を、こまめに消 すことが習慣的にできている。 また、全館LED化の おかげもあり、かなりの電 気使用量を削減できている。	
用水使用の節水	水使用量 (m ³)	259	273	対2017年度比 105.4 %	○	
	○節水呼びかけ			コロナ対策で手洗い・うが いが習慣となった。それに 伴い、水使用量も増えてしま った。増えてはいるが、 社員一同、節水活動はでき ている。		
廃棄物削減	廃棄物排出量 (t)	11.76	13.76	対2017年度比 117.0 %	○	
	○紙の裏面の再利用 ○リサイクルできるも のとの分類			可燃物、不燃物ともに排出 量がかかなり増えている。増 えてはいるが、リサイクル や分別は無理なくできている。		
化学物質の適正 管理	化学物質排出量 (kg)	17.79	10.45	対2017年度比 58.7 %	○	
	○使用方法及び管理の 徹底			適正管理できている。		
大切なお客様のお 役立ちに取り 組む	紹介件数 (件)	-	37	対2017年度比 - %	○	
	○お客様へミヤプロの CO ₂ 排出量削減の取り 組みを紹介			お客様へ紹介できている。 普段のちょっとした行動を 変えるだけでCO ₂ 削減は可 能。難しく考えず、簡単に 取り組みを始めることができ ることをもっと紹介して いきたい。		

1.1. 次年度の環境経営目標

(1) 単年度目標

2017年度を基準に、3%の改善を目標とする

	2017年度 実績 2017.8 -2018.7	2020年度 目標 2020.8 -2021.7
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	110,119
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,275
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	144,658
用水使用量 (m ³)	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.41
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24

(2) 中長期目標

2017年度を基準に、毎年1%ずつ改善を目標とする

	2017年度 実績 2017.8 -2018.7	2018年度 目標 2017年度比	2019年度 目標 2017年度比	2020年度 目標 2017年度比
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	112,390	111,255	110,119
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,487	10,381	10,275
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	147,641	146,149	144,658
用水使用量 (m ³)	259	259	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.64	11.53	11.41
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24	24	24

※1：業務で発生する廃棄物の内、古紙（紙類）排出量を除く一般廃棄物と産業廃棄物の排出量削減に取り組む

*1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 調整後排出係数（2017年度実績）（2018年12月公表）のテプコカスタマーサービスの実調整後排出係数(0.596kg-CO₂/kWh)を使用した。

*2. 東営業所は営業戦略上、拠点としておいているが常在していない。電気、水は含まず。

12. 次年度の環境経営計画の 取組内容

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの励行 ^{※1} ○タイヤ空気圧の点検 ^{※1}	辻
	電力使用量 削減	○不要な照明・機器の電源を消す ^{※2}	安野
用水使用の節水		○節水呼びかけ	鈴木
廃棄物削減		○紙の裏面の再利用 ^{※2} ○リサイクルできるものとの分類	鈴木
化学物質の適正管理		○使用方法及び管理の徹底	牟礼
大切なお客様のお役立ちに取り組む		○ミヤプロのCO ₂ 排出量削減への取り組みを紹介。コスト削減への手助けにしてもらう	辻

※1：東営業所でも同様に取り組む

※2：東京営業所でも同様に取り組む

13. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	当社の順守内容	担当者	遵守状況
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法（PRT法）	<ul style="list-style-type: none"> ・使用している化学物質すべてのSDSを管理し、取扱上の注意点を認識する ・使用している化学物質の使用量を記録する 	牟礼	○
		鈴木	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	<ul style="list-style-type: none"> 【一般廃棄物】 ・廃棄物の再利用等により減量化に努める 【産業廃棄物】 ・管理票（マニフェスト）を管理、5年間保管する ・産業廃棄物の委託契約書を管理、保管する ・毎年、6月末までに状況報告書を都道府県知事へ提出する 	鈴木	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用エアコンを廃棄する際は、フロン類回収業者に引き渡し、回収破壊費用を負担する ・フロンを含有する機器は、3ヵ月に一度担当者が点検を実施し、その記録を保管する 	安野	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる特定家電（テレビ/冷蔵庫/エアコン/洗濯機/衣類乾燥機）を廃棄する際、適正に引き渡し、リサイクル費用を支払う 	安野	○
香川県環境基本条例	公害防止、環境への負荷の低減のために必要な措置を講じる	安野	○
香川県放置自動車の処理に関する条例	勤務時間外は敷地内に適切に管理し、使用時は所定の駐車場所へ駐車する	安野	○
みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例	県が実施する緑化の推進とみどりの保全に関する施策に協力するよう努める	鈴木	○
香川県生活環境の保全に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の理解を深め、自動車によるCO₂の排出を抑制する為、エコ運転を励行する ・アイドリングストップの励行 ・事業所にて発生する廃棄物の減少に努め資源の有効利用を図ると共に、電気の使用量を削減し省エネルギー活動を推進する 	辻	○
		安野	○
高松市環境基本条例	廃棄物を適正に処理する	安野	○
高松市環境美化条例	容器包装の再資源化促進及びたばこの吸い殻等の散乱防止について、従業員の意識の啓発を図る	安野	○
高松市廃棄物の適正処理及び再生利用の促進に関する条例	周辺の清掃を行い、清潔を保ち、みだりに廃棄物が投棄されないよう管理する	鈴木	○

※上記の条例全ての遵守状況は、2020年10月5日に確認をした。

遵守の場合は、「○」と記載する。

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

過去3年間において、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。

14. 代表者による全体評価と見直し

項 目	評 価 ・ 見 直 し
環境マネジメントシステムについて	新型コロナウイルスの影響で、目標に達成出来ていない部分もあるが全体的には、目標を達成出来ている。
環境パフォーマンス評価	<p>CO₂に関してはLED化とエアコンの付け替えにより、環境に関する関心度が高くなっている。車の運転もECOドライブなどを心掛けられるようになってきている。</p> <p>水の使用量は、新型コロナウイルスの影響で手洗い、うがいなどを頻繁に行っているため増加の傾向にあるが、予防の為にはやむを得ない部分もある。</p> <p>廃棄物に関しては目標を達成出来ていないが、出来る限り廃棄物を減らすよう心掛けられている。</p> <p>化学物質については適正に管理出来ている。</p> <p>LED化やCO₂削減に関しては、お客様にも関心を持ってもらえるよう心掛けが出来ている。</p>
その他	新型コロナウイルスへの予防意識が高まる中、環境に対する意識も常に持ち続けられており評価できる。全体的に目標を達成出来ているので、引き続き、温度設定やリサイクルなど身近にできることから環境を考え行動できるように心掛けてほしい。